

「セルフプロデューストレジャー」代表、ボイストレーナー

いけもと

池本 みよ子 さん



プロフィール

兵庫県伊丹市出身。短大卒業後、幼稚園教諭となる。在任中にアナウンサーの養成学校へ。22歳で幼稚園を退職。2年後にサンテレビ、京都テレビなどの番組オーディションに合格。フリーランスのアナウンサーとして活躍した。この間、アナウンサー養成学校をはじめ、各地の学校や企業、各種団体から話し方などの講師の依頼が相次ぐ。98年頃から、ボイストレーナーの仕事が増え、00年企画事務所を立ち上げる。現在は大阪でカルチャースクールも開設している。



今年8月29日のセルフプロデューストレジャー教室の様子

正しい発声法を練習すれば、世の中楽しくなります

大阪府中央区の市立中央青年センター主催で、先ごろ「プチ起業家支援プログラム 習い事教室経営道場」というタイトルの講習会が開催された。エアロビクスや英会話などの特技を持ち、自分の教室をはじめたいと希望している人を対象に、経営のノウハウを学んでもらおうという、新しい発想の講座である。

講座は第1日目に「女性起業家から学ぶプチ起業の秘訣」と「先生としての表現力を養う」、2日目には「教室経営におけるお金の話」に加え「習い事教室を開催しよう」というカリキュラムも組み込まれた。ユニークなのは、講座修了者は、有料だが一定の条件の下で、同センターで教室を開業できることだ。今回修了者（第1期生）の起業の開始は、来年1月の予定である。また、第2期生の募集も計画されている。

ところで、「女性起業家から学ぶプチ起業の秘訣」と「先生としての表現力を養う」の担当講師が、「私自身が体験してきたことをお話し、また声の出し方一つで、自分を表現しやすくな

り人生が楽しくなることをお伝えしたい」というボイストレーナーの池本みよ子さん。アナウンサーからボイストレーナーに転進し、現在ではカルチャースクールも経営する女性起業家である。

◇「人前で話ができるように」と◇

池本さんは、兵庫県伊丹市出身。高校生時代は「目立たない子で、共学だったのに男子生徒と話をしたことがないほどの内気な女の子」だった。そんな池本さんが「もっと積極的にならねば」と実感したのは幼稚園の教諭になって、約1年が過ぎた頃だ。当時は人前でうまく話せない自分が、もどかしかった。そんな時、新聞で目にしたのがアナウンサー養成学校の入学案内だった。教諭を続けながら、養成学校に通った。

1年後。「人一倍勉強した」成果が現実となり、「人前で話ができ、高校生時代とは明らかに違う自分」を感じるようになったという。この時期池本さんは、職業としてのアナウンサーを視野に入れるほど“変身”していたの

だ。幼稚園をやめてプロダクション事務所に登録したのが22歳。アルバイトをしながら勉強を続け、2年後にサンテレビや京都テレビなどの番組オーディションに合格。フリーランスのアナウンサーとしてデビューするのである。

◇4年前に起業◇

司会者やリポーターとして活躍する日々の中で、アナウンサー養成学校の講師を引き受けたのを手始めに、次々と話し方や発声法のテクニックの講習会や講演会の依頼が舞い込むようになった。「高校生時代の自分と同じ悩みを持つ人達がいるなら、体験を基に本格的に教えたい」と、アナウンサーを“卒業”し、ボイストレーナーとして起業したのは4年前のことだ。

池本さんのボイストレーニングは、「独自の腹式呼吸による発声練習法」を特徴としている。その自信に満ちた表情と声で、こう締めくくってくれた。「正しい発声練習でパワーのあるいい声が出ると、世の中楽しくなりますよ」。(文・脇本勤／表紙写真 高島悠介)